

～将来を担う子どもたちからの問いかけ～

第4回北斗市子ども議会



令和3年11月15日、新型コロナウイルス感染防止対策を講じた中、第4回北斗市子ども議会が市議会議場において、小学5年生から高校3年生までの子ども議員と市長をはじめとする説明員の出席のもと開催されました。

函館水産高等学校の岩崎壮汰議長の開会宣告のあと、北斗市の将来に関する提案や市政運営について、10人が一般質問を行いました。

また、本会議に先立ち、北斗市議会中井議長から「本日の子ども議会が、皆さんにとりまして実り多き体験となり、ここから大きく羽ばたいて活躍されますことをご祈念いたします。」とあいさつがありました。



【子ども議員からの質問事項】

- ・野村 萌々花 議員（石別小学校）
「差別のない、みんなで支え合うまちづくりについて」
- ・佐藤 煌大 議員（谷川小学校）
「北斗市の防災について」
- ・品川 浩夢 議員（北斗高等支援学校）
「安全なまちづくりについて」
- ・佐藤 遥希 議員（大野中学校）
「北斗市の今後の発展に向けた方策について」
- ・藤谷 衛 議員（市渡小学校）
「北斗市笑顔プロジェクトについて」
- ・三浦 悠翔 議員（久根別小学校）
「北斗市に総合病院をつくる」
- ・紺野 竣太郎 議員（上磯中学校）
「新函館北斗駅周辺の活性化について」
- ・橋場 唯斗 議員（茂辺地中学校）
「北斗市をもっと知ってもらうために」
- ・金札 涼汰 議員（上磯高等学校）
「北斗市夏まつりについて」
- ・波 千風音 議員（萩野小学校）
「町内会を通じて、つながり合う町づくり」

最後に、池田市長から「北斗市児童生徒のすばらしい発想を、将来のまちづくりに生かしたいとの思いで、子ども議会を開催させていただいております。議員の皆さんから頂いた貴重な意見を北斗市発展のために役立たせていただきます。」とあいさつがありました。

